

# 万華鏡

甲府商業高校 図書室  
令和4年9月14日  
NO.4

秋の気配が感じられる季節となりました。

秋は様々な形で私達の生活に実りを与えてくれます。

「芸術の秋」、「スポーツの秋」、そして「読書の秋」等と・・・

図書室には、新刊本が多数入りました。何気なく手にとった一冊が人生の指針となる、そんな一冊と出会えるかもしれません。

この機会に読書を楽しんでほしいと思います。



## 新着本紹介

『おいしいごはんが食べられますように』

高瀬隼子／著 講談社

書籍紹介：第167回芥川賞受賞作

職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがんばり屋の押尾。ままたらない人間関係を、食べものを通して描く傑作。

『夜に星を放つ』

窪美澄／著 文藝春秋

書籍紹介：第167回直木賞受賞作！

かけがえのない人間関係を失い傷ついた者たちが、再び誰かと心を通わせることができるのかを問いかける短編集。

『さよならデパート』

渡辺大輔／著 スコップ出版

書籍紹介：2020年1月27日、山形の老舗デパート「大沼」が突然、自己破産を発表。約200人の従業員は即日解雇。「全国初の百貨店ゼロ県」とも報じられた。

大沼の生きた320年をたどりながら、繁栄と終焉の内側を描く。著者は山形で事業を営み、大沼デパートとも取引をしていた。取材に応じたのは、破産を決定した社長や解雇された従業員、ライバル店の幹部など。さまざまな関係者の証言と、膨大な資料で構成したノンフィクション・ストーリー

『その話、諸説あります。』

鈴木悠介／著 日経ナショナルグラフィック社

書籍紹介：モナ・リザのモデルは誰？ 明智光秀はなぜ本能寺の変を起こした？ ヒトの寿命は何歳まで延びる？ 渡り鳥が目的地に行ける理由は？ さまざまなジャンルで提唱されている24の謎と、その解明に迫る諸説を紹介。

『苦しかったときの話をしようか』

森岡毅／著 ダイヤモンド社

書籍紹介：「何をしたいかわからない」「今の会社にすっぴいていいのかわからない」と悩むあなたに贈る必勝ノウハウ。悩んだ分だけ、君はもっと高く飛べる！ USJ復活の立役者が教える「自分をマーケティングする方法」。

後半の怒涛の展開で激しい感動に巻き込む10年に1冊の傑作ビジネス書！

『ウエルカム・ホーム！』

丸山正樹／著 幻冬舎

書籍紹介：拒食状態の登志子さんが一度だけきちんと食べたのはなぜ？ 口に麻痺のある當間さんが言う「アイオウエ」とは？ 謎が解けるたび、新米介護士・康介は、この仕事の面白さに少しだけ目覚め…。

『マイクロスパイ・アンサンブル』

伊坂幸太郎／著 幻冬舎

書籍紹介：どこかの誰かが、幸せでありますように。失恋したばかりの社会人と、元いじめられっこのスパイ。知らないうちに誰かを助けていたり、誰かに助けられたり……。ふたりの仕事があつた現代版おとぎ話。でも、今見えていることだけが世界の全てじゃない。優しさと驚きに満ちたエンターテインメント小説！

★『奇跡集』 小野寺史宜著 集英社

★『夏が破れる』 新庄耕著 小学館

★『宙ごはん』 町田そのこ著 小学館

★『よみぐすり』 坂口泰著 東京書籍

★『競争の番人』 新川帆立著 講談社

★『カレーライス』 重松清編 新潮社

★『なんでも見つかる夜にこころだけ見つからない』 東畑開人著 新潮社

★『沖縄美ら海水族館は役に立たない研究をするのか？』 佐藤圭一他著 産業編集センター など…

★『私と街たち』 吉本ばなな著 河出書房新社

★『神様からのひとつこと』 荻原浩著 光文社

★『徒然草をよみなおす』 小川剛生著 筑摩書房

★『ミウラさんの友達』 益田ミリ著 マガジンハウス

★『両手にトカレフ』 プレティみかこ著 ポプラ社

★『泣き虫先生』 ねじめ正一著 新日本出版社



## やま読ラリーカード配布

図書室利用と県内3店舗の書店で500円以上本を買ってスタンプを4つ集めると、甲州印伝のオリジナルしおりがもらえる、やま読ラリーを実施中！

図書室の本を借りた人にスタンプカードを差し上げています。

